

3年生 キャリア教育単元計画

2022 (R4)

教科	総合的な学習の時間
単元名	めざせ！戸手っ子博士！ ～戸手フェスティバル編～
関連する教科	音楽科，社会科
単元計画の概要	戸手で行われている祭り（祇園祭・ラベンダー祭・中戸手めだか祭・下戸手夏祭）について聞き取りやビデオ視聴等で祭りの様子を捉え，祭りを支えている人々から話を聞く活動を通して，地域の人々が受け継いできたことや，地域の発展など人々の様々な願いが込められていることに気付く学習である。
関連企業等（連絡先）	備後一宮吉備津神社，メダカ祭，祇園祭，ラベンダー祭
単元目標	祭りを支えている人々の願いや努力に気付き，分かったことや感謝の気持ちを表現すると共に，地域の祭りの保存や継承に関わって自分たちにできること等を考えたり，選択・判断したりできる。

キャリア教育と総合的な学習の時間本単元で育成する資質・能力

	と・で チャレンジ&チェンジする力	つ 自己表現力	こ 自己理解力
知識及び技能	総戸手のよさを見つけることで，地域への様々な「こと（祭）」について理解し，地域への愛着が高まっている。		中自分の得意なことや目標を持つ。
思考力・判断力・表現力等		中自分の思いを相手に伝えることができる。 総自分が調べたことについて適切な文章にまとめ，自分が発信したいことを効果的に表現することができる。	
学びに向かう力 人間性	中困難な事にも挑戦し，最後までやりきる。		総インタビューや調べ学習を行い，戸手のよさを主体的に調べている。

評 価 規 準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・戸手のよさを見つけることで，地域への様々な「こと（祭）」について理解し，地域への愛着が高まっている。	・自分が調べたことについて適切な文章にまとめ，自分が発信したいことを効果的に表現している。	・インタビューや調べ学習を行い，戸手のよさを主体的に調べている。

本質的質問

いつもお世話になっている人たちに感謝の気持ちを伝えるためには。

活動計画			
学習段階	○学習活動 ・支援（留意点）	評価	
		評価規準	評価手法
1 (2)	○「楽しいこと」について出し合う。 ○地域みんなが楽しむためには、どんなことができるのか考える。 ・祭りを行えばみんなが楽しめることに気付かせる。	・戸手のよさを見つけることで、地域への愛着が高まっている。知	・発言、ノート
2 (3)	○「戸手の祭りには、どのようなものがあるのだろう」 ・戸手にある祭について、知っていることや分からないことを出し合う。 ・戸手には昔から残されているものがあることに気付くようにする。 ○「どのような祭りなのだろう」 ・祭りの始まった経緯、祭りの歴史、祭りの様子について、ビデオを見たり、聞き取りをしたり調べたりして年表などにまとめる。	・自分が調べたことを適切文章にまとめている。思	・年表
3 (2)	○「戸手の祭りをどのようにして続けてきたのだろう」 ・祭りを支え続けてきている人々の話を聞く。 ・祭りを始めた頃と今の様子の違い、祭りの来場者減少のズレから、祭りを続け支えている人々の苦労や努力について調べる。 ・地域の人たちが協力して準備に関わったり、多くの人を楽しめるように工夫したりしている。 ・戸手の発展にかける強い思いを感じ取らせる。	・祭りには様々な人々の願いが込められていることが分かる。主	・ノート
4 (1)	○「祭りで地域を盛り上げようとしている方に、どのようにして感謝の気持ちを伝えることができるだろう」 ・昔から続いている地域の祭りに自分自身が参加しているか振り返る。 ・地域の伝統や継承のためにできることを考え、発表する。 ・毎年、続けてきたことの意味を考えさせ、祭りを続けることが地域にとって大切であることに気付かせる。	・地域の祭りの保存や継承に関わって自分たちにできることなどを考えている。思	・話し合いの様子
まとめ (5)	○表現方法を選択する。 (1) 自分たちでお祭りを開こう。 (2) まとめたことの報告会を開こう。 (3) 祭りパンフレットを作成し、公民館などに置かせてもらおう。	・自分はどのように関わっていくのか選択・判断している。思	

【1. 2学期培った力を生かす授業】

(1学期)

- ・戸手の地域にある「もの」について学習した。
- ・ブルーベリー、アスパラガス、くわい、備後緋など

(2学期)

- ・戸手の地域にある「こと」について学習した。
- ・カイハラのカニ
- ・備後漬物のキムチ

1. 2学期には、戸手の地域にある「もの」、「こと」を調べた。どれも「地域に引き継がれる人々の思い」を主に学んできた。3学期（本単元）では、地域の「こと」である「祭り」を主な題材とし、1. 2学期に培った、課題を発見したり、情報収集したり、それを表現したりする力や地域の「もの」、「こと」と「人々の願いや思い」とを関連付ける力を基に、人々が地域のためにどのように祭りを支えているのかといった願いや努力に気付かせたい。また、分かったことや感謝の気持ちを表現すると共に、地域の祭りの保存や継承に関わって自分たちにできることは何か等を考えることを通して、自分はどのように関わっていくのか選択・判断・表現していく力を身に付けさせたい。